

Cook, et al.: Combinatorial Optimization

Chap. 1: Problems and Algorithms

安藤 和敏

May 12, 2003

2. Optimal Trees and Paths

2.1. Minimum spanning Trees

ある会社は、いくつかの営業所をもっていて、それらの営業所を継ぐ通信網を構築しようとしている。特定の2つの営業所 vw の間を直通的通信ケーブル回線で結ぶことができ、その通信ケーブルの敷設費用は c_{vw} であるとする。この会社は、全ての営業所間で通信が(たぶん間接的に)可能になるように、直通的通信回線を敷設したい。しかもこの制約のもとで、ケーブル敷設のための総コストを最小にしたい。

このような状況は、図 2.1 のように表現される。ここで、各点は事業所を表し、2つの事業所間を結ぶ線は、そこに通信ケーブルを敷設する可能性があることを示している。全ての2点の間にケーブルを敷設する必要はないこと、及び、 c_{vw} は、必ずしも事業所間の距離である必要はないことに注意する。

(無向) グラフ (graph) G は、点集合 (nodes) とよばれる有限集合 $V(G)$ 、枝集合 (edges) とよばれる有限集合 $E(G)$ 、及び、各枝 $e \in E(G)$ に対してその終点 (ends) を指定する関数 ∂ から成る。

例 2.1: $V(G) = \{v_1, v_2, v_3, v_4, v_5\}$, $E(G) = \{e_1, e_2, e_3, e_4, e_5, e_6, e_7, e_8, e_9, e_{10}\}$,

$\partial(e_1) = v_1v_4$, $\partial(e_2) = v_1v_2$, $\partial(e_3) = v_1v_2$, $\partial(e_4) = v_1v_5$, $\partial(e_5) = v_4v_5$, $\partial(e_6) = v_2v_5$, $\partial(e_7) = v_2v_3$, $\partial(e_8) = v_3v_4$, $\partial(e_9) = v_3v_5$, $\partial(e_{10}) = v_4v_4$.

$\partial(e) = vw$ のとき、 e は v (と w) に接続するという。

グラフ G が上のように与えられたときに、二次元平面上に、グラフ点を平面上の点として適当に描き、さらに、 ∂ で指定されるように、二つの点を線で結んだものを、 G の幾何学的表現 (geometric representation) と呼ぶ。

G の幾何学的表現は一意ではない、例えば一つの幾何学的表現は、図 2.2 のように与えられる。

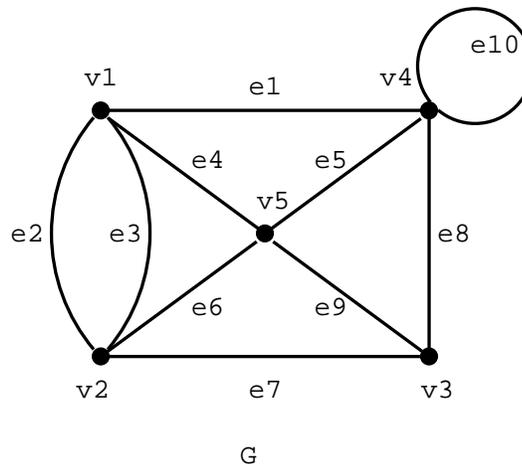


Figure 2.1: グラフの幾何学的表現

例 2.1 のグラフにおける e_2 と e_3 のように、終点と同じ二つの枝は、並列 (parallel) と呼ばれる。さらに、 e_{10} のように終点が一つのとき、その枝は自己閉路 (loop) と呼ばれる。

並列枝も自己閉路もないグラフは、単純 (simple) と呼ばれる。この本では、主に単純なグラフを扱う。 G が単純なグラフであるときには、 $\partial(e) = vw$ と書くかわりに、 $e = vw$ と書く。

どに 2 点間にも枝がある単純なグラフを完全グラフ (complete graph) と呼ぶ。

グラフ G の部分グラフ (subgraph) H とは、 $V(H) \subseteq V(G)$, $E(H) \subseteq E(G)$ かつ H の枝の終点 G における終点と一致するようなグラフの事。

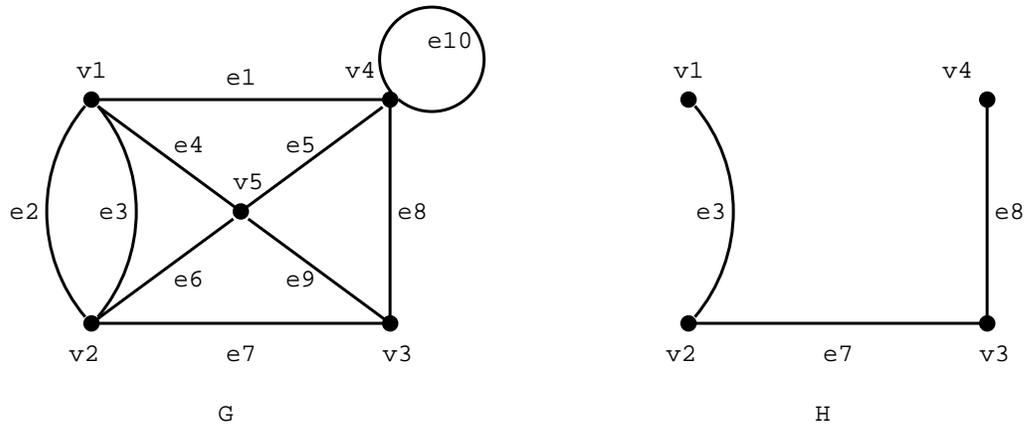


Figure 2.2: G の部分グラフ H

グラフ G と $A \subseteq E(G)$ に対して、 $G \setminus A$ を G から枝たち A を消去 (delete) した部分グラフを表す。同様に、 G から頂点たち $B \subseteq V(G)$ と B の中に接続する枝たちを消去したグラフを $G \setminus B$ または $G[V \setminus B]$ と書く。

例 2.2: テキストの図 2.1 は、 $V(G) = \{a, b, d, f, g, h, k\}$, $E(G) = \{ab, ad, ag, af, bd, bh, dg, dh, fg, fk, gh, gk, hk\}$. で与えられるグラフ G の幾何学的表現である。